

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			児童の様子に合わせて、外出するチーム、室内活動するチームを作る等して対応している。
	2	職員の配置数は適切であるか	4			必要に応じマンツーマン対応の児童も作るようにしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4			室内はバリアフリー、トイレに手すりがある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4			定期的に支援会議を実施し、モニタリング・評価等の見直しをしている。会議以外でも適宜話し合いをしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			毎年、事業所評価を実施し、面談時等にニーズの把握に努めている。それをふまえ業務内容の見直しをしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			HPやブログにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2		1	きぼう全体で行われる会議にて評価してもらい必要に応じて業務改善につなげている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			外部研修へ積極的に参加し、内部研修をも充実させている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			定期的に面談の機会などを設け、聞き取り、会議で分析・評価をし計画している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			ICFや遠城寺式、感覚統合評価を活用。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			朝礼時などを利用して立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			季節に合わせた製作やイベントを行っている。前日に行ったことを振り返りし、当日の活動を決めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			職員間で課題を共有し、支援する事を心がけている。支援の時間割、内容を利用日に応じて調整している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			ニーズや状況に合わせて計画を作成している。お子様の障害レベルに合わせて検討し作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			職員の勤務形態により朝礼等が行えない場合には、スキマ時間を見つけ共有している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	1	1	職員の勤務形態により支援終了後に行えない場合には、申し送りノート等を活用し共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			連絡帳の記載や活動の記録を残している。適宜検討、改善を行う時に記録を活用している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			定期的なモニタリングや必要に応じ電話対応している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	3	1		保護者支援等も含めて行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			担当職員の参加。参加後には事業所にて共有している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	1		基本的には保護者様を通しての連携になるが、必要に応じ送迎の際などに年間予定等、情報共有している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4			必要に応じ病院と連携している。主治医から指示書を頂き、支援している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2		2	相談員を通し連携している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3		1	相談員を通し連携している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3		1	子ども部会や顔の見えるネットワーク会議を通し連携している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2		2	今年度は感染症の心配もあり交流が少なかった。外出活動の際に、公園利用者と関わりを持つことができた。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4			子ども部会や顔の見えるネットワーク会議を通し連携している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			連絡帳や送迎の際に情報共有している。定期的にモニタリングを行う事で情報共有している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3		1	保護者会の開催や保護者参加型のイベントを通し行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約時や契約変更時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			必要に応じ面談や電話連絡等行っている。面談の調整等行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4			保護者会の開催や保護者参加型のイベントを通し行っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			苦情があった際には適宜対応し、上司へ報告している。

	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			きぼうだよりの作成やブログの作成をしている。また、らくらく連絡網も活用をしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	4			鍵付き書庫にて保管。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			情報伝達方法について手紙や口頭等、各家庭に合わせて行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			4	医療的ケア児も通所しているため感染症のリスクを考え、開催を見送らせている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			職員間でマニュアルの読み合わせ、契約時に説明をしている。らくらく連絡網を活用し周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			定期的に避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			定期的に研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			契約時に説明、必要に応じて同意書を貰っている。また、利用後に必要と判断した場合には説明をし、同意を頂いている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3		1	契約時に確認をしている。検査報告書などの情報収集を行い間食を提供している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			ファイルに保管し、共有している。